

みずほCustomer Desk Report 2021/11/04号(As of 2021/11/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	113.96	1.1579	131.95	1.3618	0.7435
SYD-NY High	114.21	1.1616	132.41	1.3691	0.7458
SYD-NY Low	113.73	1.1563	131.77	1.3606	0.7413
NY 5:00 PM	114.03	1.1612	132.42	1.3685	0.7449
NY DOW	36,157.58	104.95	日本2年債	-	-
NASDAQ	15,811.58	161.98	日本10年債	-	-
S&P	4,660.57	29.92	米国2年債	0.4748	2.78bp
日経平均	-	-	米国5年債	1.1881	4.62bp
TOPIX	-	-	米国10年債	1.6025	5.64bp
シカゴ日経先物	29,730.00	210.00	独10年債	-0.1710	▲0.80bp
ロンドンFT	7,248.89	▲ 25.92	英10年債	1.0705	3.55bp
DAX	15,959.98	5.53	豪10年債	1.8390	▲16.30bp
ハンセン指数	25,024.75	▲ 74.92	USDJPY 1M Vol	6.11	▲0.42%
上海総合	3,498.54	▲ 7.09	USDJPY 3M Vol	6.40	▲0.18%
NY金	1,763.90	▲ 25.50	USDJPY 6M Vol	6.55	▲0.15%
WTI	80.86	▲ 3.05	USDJPY 1M 25RR	-0.06	Yen Call Over
CRB指数	235.787	▲ 3.42	EURJPY 3M Vol	6.63	▲0.13%
ドルインデックス	93.86	▲ 0.23	EURJPY 6M Vol	7.25	▲0.08%

東京	アジア時間のドル円は113.96レベルでオープン。主要なアジアの株式指数がやや軟調地合いとなり、ドル円は朝方から緩やかに下落。しかし、NY時間に予定されているFOMC会合の結果発表を控えた様子見姿勢も強く、113.75をつけた後は下げ止まり、やや下落幅を戻した。その後、113.86レベルで海外時間に渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は113.86レベルでオープン。FOMCの結果待ちの様子見ムード、米長期金利も低調推移。ドル円も値を下げ113.76レベルでNYへ渡った。(ロンドン時間 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	東京市場が祝日で休場となっているほか、FOMC前で様子見ムードが強まっている中、海外市場のドル円は積極的な取引が手控えられており、114円手前の狭いレンジ推移し、113.76レベルでNYオープン。朝方は米10月ADP雇用統計が予想を上回ったほか、米財務省が米債発行規模縮小を発表したことが買いをサポート。その後発表された9月製造業受注や10月ISM非製造業景況指数も予想を上回ったこともあいまって一時114.15まで上昇。しかし、午後のFOMCを控えている中、買いは長続きせず、114円付近まで反落した。注目のFOMC発表直後に113.80まで下落する場面もあったが発表内容は政策金利の据え置き、テーパリング開始、声明文では引き続きインフレが一過性であるとの見方を示しており、概ね予想通りの内容だったことからすぐに買い戻され、米金利上昇とともに高値114.21まで反発した。パウエルFRB議長の記者会見では利上げに対して慎重な姿勢を見せるも、特段サプライズとなる発言が見当たらなかった中、会見終了後に失速し114.00付近まで再び反落。終盤は小動きとなり、結局114.03レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドル1.15台後半でスタート。米長期金利が1.51%台に沈んだ局面で1.1597まで上昇するも、様子見ムードが強い中、更なる上値追いは限定的で、1.1588レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇に圧迫され1.1563まで下落するが、イベント前のためすぐに買い戻された。FOMC発表直後には上下する場面もあったが、米株高を受けて買われたユーロ円に連れ高となり1.1616まで上昇。終盤は小幅値を戻し、1.1612レベルでクロス。

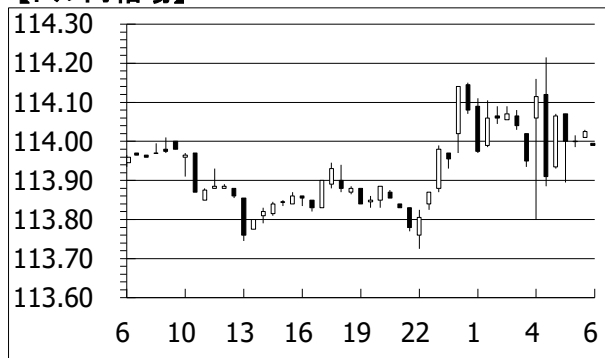
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月3日	21:15	米 ADP雇用統計	10月 571k	400k
	22:45	米 マークイットPMI(コンポジット/サービス業)確報	10月 57.6/58.7	-/58.2
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	9月 -0.3%	-0.4%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	9月 0.5%	0.4%
11月4日	03:00	米 FOMC政策金利	3-Nov 0.00%-0.25%	0.00%-0.25%

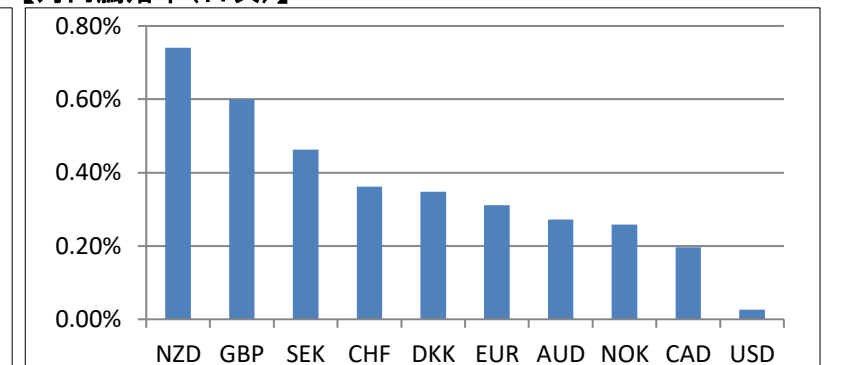
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月4日	17:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)確報	10月 52.4/52.0	52.4/52.0
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	9月 2.3%/15.4%	1.1%/13.4%
	21:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	4-Nov 0.10%	0.10%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	30-Oct 275k	281k
	21:30	米 貿易収支	9月 -\$80.2B	-\$73.3B

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-114.50	1.1570-1.1670	131.90-132.90

【マーケット・インプレッション】

11/2・11/3のドル円は総じて上値の重い内容。11/2はFOMCを控えて様子見ムードとなるも、この日RBAが政策金利据え置きとYCCの目標利回りを撤廃を発表するも市場予想比タカ派ではないとの見方から豪ドル売り主導のクロス円下落が強まりドル円も一時113.46下げ幅拡大。11/3はFOMCを直前に控え113円後半で方向感に乏しく推移した後、FOMCにおいて市場予想通りテーパリングの開始が決定されたことで米金利が上昇しドル円も114.21まで上昇。しかしその後パウエル議長の会見で来年の利上げに対しての慎重な見方が示されたことによる失望感から114円ちょうど近辺まで売り戻される展開に。パウエル議長の会見含めてまずは一大イベントを無難な形で乗りきったことで値幅は期待しづらいものの、米金利の着実な上昇を背景としたドル買い継続見込みからドル円はじり高の展開を想定しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・鈴木